

---

# 岐阜県立中津高等学校

学 校 長 森井 静子

学校住所 岐阜県中津川市中津川1088-2 電話 0573-66-1361

---

1 会議の名称 岐阜県立中津高等学校学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 委 員 糸魚川 謙一 元全日制PTA会長  
佐藤 和男 前定時制同窓会長  
西尾 由美子 元小学校教諭  
宮良 淳子 中京学院大学教授  
吉村 あづさ 地域代表

(委員名は五十音順)

学校側	森井 静子	校長
	今井 雅人	副校長
	谷口 典子	事務部長
	渡邊 卓哉	教頭(司会)
	喜多川 博	全日制教務主任
	山田 政春	定時制教務主任
	青山 理	全日制生徒指導主事
	西尾 靖彦	定時制生徒指導主事
	小栗 毅石	全日制進路指導主事(記録)

3 会議の目的 学校運営等について、地域の有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの要望を取り入れると共に協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 令和3年2月4日(木) 14:00~16:00 中津高等学校大会議室  
委員3人(2人ご欠席)と学校側9人が出席

## 5 会議の概要

(1) 2年生弁論大会参観

### 【ご感想】

- ・今を感じさせるテーマ(尊厳死・安楽死、AI心理学…)で感心した。
- ・聞いている他の生徒にも発表者の考えを共有できるよい機会であった。

(2) 生徒及び保護者対象アンケートの結果と令和2年度自己評価・学校関係者評価について  
<全日制・教務部より>

- ・目標家庭学習時間を明確化して取り組んだが、目標とする平均学習時間には達していない。
- ・個々への指導、学校からの情報伝達について保護者からの評価が低かった。
- ・オンラインを活用した教育活動に前向きに取り組んでいる。
- ・「家庭学習への働きかけ」と「新カリキュラムの完成」が今後の課題である。

### 【ご意見】

- ・本校のHPをよく見ている。頻繁に更新されていて、情報がよく発信されていると感じる。特に、教員が紹介する「卒業生からのメッセージ」が面白い。
- ・生徒の夢を叶えるためにも、教職員の労働環境整備を心がけ、働き方改革を進めてほしい。
- ・教職員に是非休暇をとってリフレッシュしていただき、新たな刺激も受けていただきたい。
- ・コロナ禍で行事が中止になることへの保護者の不満を和らげるため、引き続きHPの充実等広報活動を望む。
- ・コロナ禍の中で生徒の実態に合わせて活動を工夫し、取り組まれていることに感謝したい。
- ・教職員の頑張りが労働時間を増加させてしまうが、保護者はその努力に感謝している。

### <全日制・生徒指導部より>

- ・モラル・マナー指導については、昨年度よりも評価が高かった。
- ・いじめに対する指導・対応について、生徒と保護者の回答に差があった。
- ・生徒会活動が十分できなかつたことが残念であった。
- ・来年度の学校祭に向けて、今年度後期から話し合いを繰り返し、取り組んでいる
- ・「SNSを含めたスマホ使用に関するマナー指導」と「校外活動への参加」が今度の課題である。

### 【ご意見】

- ・多くのアンケートを実施することで、回答にずれが生じ、精度が落ちる可能性もある。難しいかもしれないが、アンケートの実施については工夫が必要であると考える。
- ・生活委員会、生徒会がスマホの使用についての啓発活動を活発に実施しており、時機を逸することなく取り組まれているとわかった。
- ・令和3年度に向けて、今からできることを工夫しているのがよい。

### <全日制・進路指導部より>

- ・アンケート結果から、どの項目も昨年度より評価が高かった。
- ・オンラインを活用した保護者勉強会を実施したことにより、保護者の「分からない」という課題が少しクリアできた。
- ・感染防止に配慮しながら、多くの行事を実施できた。
- ・コロナ禍にも負けず、3年生はよく勉強し、成果にもつながった。
- ・「個に応じた学習の仕方」と「新しい入試への対策」が今後の課題である。

### 【ご意見】

- ・保護者勉強会への参加状況が昨年度比1.5倍になり、ピンチをうまくチャンスに変えることができた。
- ・企業合同説明会（1年生対象）が中止になり、残念だった。職業観を養う機会があれば、積極的に参加してほしい。
- ・地元中津川の企業についても知ってほしい。

### <全日制・保健環境部より>

- ・保健安全講話は実施できなかったが、コロナ対策を徹底できた。
- ・「クラスターにならない」が今後の課題である。

### 【ご意見】

- ・クラスターを出さないための対策を怠らないようにしてほしい。

<定時制・教務部より>

- ・学校経営や学習指導の項目で、保護者からの評価が高かった
- ・生徒と教職員との信頼関係、分かる授業、学び直し、少人数教育がその理由として挙げられる。
- ・学習への主体的な姿勢」と「ICT機器の利用」が今後の課題である。

【ご意見】

- ・定時制の生徒に対する丁寧な指導に感謝している。
- ・定時制の生徒にとって「分かる授業」と「学び直し」はとても大事である。

<定時制・生徒指導部より>

- ・家庭との連携や生徒指導の項目で、保護者からの評価が高かった。
- ・連絡文書が家庭に伝わっていない様子が認められた。
- ・コロナ禍で各種行事ができなかった。
- ・不登校傾向のある生徒もいるが、少しずつでも登校できるようになっている
- ・「職員のスキルアップ」と「生徒・保護者の安心安全の確保」が今後の課題である。

【ご意見】

- ・学校祭での工夫がよかった。

(3) その他 質疑応答

- ・オンライン授業に機器の不具合で参加できなかった生徒（5%程度）に対するフォローはどのようになっているのか。  
→ DVDやタブレットの貸し出しで100%対応できている。教職員の協力態勢ができており、前向きに取り組んでいる。
- ・コロナの影響で都市部への大学進学、あるいは大学進学自体をあきらめた生徒はいるのか。  
→ そのような生徒はほとんどいない。東京や横浜の大学を受験する生徒もいる。家庭の経済状況が悪化した生徒もいたが、奨学生試験を受験し、合格できた。

## 6 会議のまとめ

様々なご意見や励ましのお言葉をいただいた。「生徒の夢をかなえる学校」として、3月1日の卒業式では、全生徒が「この学校に入学してよかった」と思えるよう、本日いただいたご意見を今後の指導に活かして、より高い評価をいただける学校にしていきたいと考える。